

アナリストレポートの原則について

2019年10月1日

・ベル企業レポートは、IRアナリストレポートと称して、以下のように定義する。

「本レポートは、独自の視点から書いており、基本的に会社側の立場に立つものではない。本レポートは、投資家の当該企業に対する理解促進をサポートすることを目的としており、投資の推奨、勧誘、助言を与えるものではない。内容については、担当アナリストが全責任を持つが、投資家の投資判断については一切関知しない。本レポートは上記作成者の見解を述べたもので、許可無く使用してはならない。」

- ・レポートは年4回発行する。それ以外にも大きな変化があった場合は適宜出す。
- ・レポートは必ずトップインタビューを実施し、独自の分析に基づいて書く。
- ・レポートの全責任は当社及び担当アナリストが持つ。
- ・レポートの中で、アナリストの意見に関わる場所については一切の干渉を受けない。
- ・投資家が知りたいことをアナリストの立場からまとめるので、会社側の立場に立つものではない。
- ・当社のホームページに載せて、誰でも閲覧できるようにする
- ・開示に当たっては、フロントランニングの無いように管理する。
- ・内部情報に関わるような情報(法人関係情報)を入手した場合は情報管理を徹底し、レポートの発行は行わない。
- ・レポートの配信に当たっては、スポンサー料を企業から得る場合がある。また、配信料、情報提供料などを他の企業から得ることもある。
- ・特定の投資家から個別に情報料を得ることはない。
- ・当社及び担当アナリストが当該企業の株式を保有する場合は、その保有状況をレポートの中で必ず開示する。
- ・企業分析において、コーポレートガバナンスの観点から、少数株主として株式を保有した方が、株主総会や株主説明会への出席、開示内容へのアクセスや会社側とのコミュニケーションという点で、望ましいケースが増えている。よって、レポート企業の株式を中長期的に少額保有することがある。

以上